

フランス語学フランス文学専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時
フランス文学特論Ⅰ	仏文学論文制作法	2	今井 勉	前期 火曜日 2講時
フランス文化学特論Ⅰ	Patrick Modiano	2	MEVEL YANN ERIC	前期 水曜日 4講時
フランス文化学特論Ⅱ	物語論の探求—物語形式の分析	2	翠川 博之	後期 火曜日 3講時
フランス語学研究演習Ⅰ	フランス語史の諸トピック	2	黒岩 卓	前期 月曜日 3講時
フランス語学研究演習Ⅱ	フランス語史の諸トピック	2	黒岩 卓	後期 月曜日 3講時
フランス文学研究演習Ⅰ	Pascal Quignard	2	MEVEL YANN ERIC	前期 月曜日 5講時
フランス文学研究演習Ⅱ	Jean - Philippe Toussaint	2	MEVEL YANN ERIC	後期 月曜日 5講時
フランス文学研究演習Ⅲ	近現代仏文学研究	2	今井 勉	前期 水曜日 2講時

科目名：フランス文学特論 I / French Literature (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 火曜日 2 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LM12203, 科目ナンバリング：LGH-LIT638J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：仏文学論文制作法
2. Course Title (授業題目) : How to write a paper on French literature
3. 授業の目的と概要：この授業では、フランス文学研究におけるさまざまな方法論を学びながら、実際の論文（レポート、研究ノート、学会誌投稿論文、修士論文や博士論文などの学位論文）を構想・執筆するに当たって最も重要となる問題設定の仕方と論理展開の方法について、実例をもとに実践的に考え、実習を通して執筆訓練を行います。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : This course offers an opportunity to deepen understanding diversity in the research and to develop the abilities necessary in academic writing.
5. 学習の到達目標：論文の構想と執筆について具体的かつ実践的な見通しを持つことができるようになる。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : The purpose of this course is to help students have a concrete and practical perspective of writing articles.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
第1回 導入
第2回 内在批評と外在批評
第3回 テクストの価値づけ
第4回 先行研究へのリスペクトと文献目録
第5回 最新の本文批評版および最新の研究への目配り
第6回 比較断章法（1）
第7回 比較断章法（2）
第8回 「注」への注意
第9回 問題設定は自分にしかできないということ（1）
第10回 問題設定は自分にしかできないということ（2）
第11回 執筆要項の順守
第12回 研究ノートを書いてみよう（1）
第13回 研究ノートを書いてみよう（2）
第14回 修士論文の構想（1）
第15回 修士論文の構想（2）
8. 成績評価方法：
準備をしたうえでの授業への参加状況 100%
9. 教科書および参考書：
Google クラウド上にデジタル資料を配付します。
10. 授業時間外学習：毎回、十分な準備をして授業に臨むこと。
11. 実務・実践的授業/Practical business
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：
特になし。

科目名：フランス文化学特論 I / French Culture (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC

コード：LM13404, 科目ナンバリング：LGH-LIT642F, 使用言語：英語以外の外国語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Patrick Modiano

2. Course Title (授業題目)：Patrick Modiano

3. 授業の目的と概要：The main aims of the course will be to：

- deepen the method of text explanation
- learn how to analyze a narrative work
- analyze a writing of memory and melancholy, confronting individual and collective history

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：The main aims of the course will be to：

- deepen the method of text explanation
- learn how to analyze a narrative work
- analyze a writing of memory and melancholy, confronting individual and collective history

5. 学習の到達目標：- Practice in text explanation

- Thematic and stylistic approaches to a narrative work

6. Learning Goals (学修の到達目標)：- Practice in text explanation

- Thematic and stylistic approaches to a narrative work

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) Introduction
- 2) Introduction
- 3) Text explanation
- 4) Text explanation
- 5) Text explanation
- 6) Text explanation
- 7) Text explanation
- 8) Text explanation
- 9) Text explanation
- 10) Text explanation
- 11) Text explanation
- 12) Text explanation
- 13) Text explanation
- 14) Text explanation
- 15) Conclusion
- 16) Film screening. Analysis and conclusion

8. 成績評価方法：

Evaluation will take the form of continuous assessment, which requires participation in all classes. It will count for 60 % of the overall assessment. At the end of the semester, students will be asked to write a brief critical review of the work.

9. 教科書および参考書：

Patrick Modiano, Dora Bruder, Paris, La Bibliotheque Gallimard - texte et dossier

10. 授業時間外学習：For any explanation of text, before the class students will need to check vocabulary, grammar points, references, and to consider the functions and effects of the text.

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：

科目名：フランス文化学特論Ⅱ／ French Culture(Advanced Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 火曜日 3講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：翠川 博之

コード：LM22303, 科目ナンバリング：LGH-LIT643J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：物語論の探求-物語形式の分析
2. Course Title (授業題目)：Exploring Narratology: Analyzing Narrative Structures
3. 授業の目的と概要：物語論とは物語の構造や語りの機能を分析する文学理論のひとつです。G. ジュネットの著作からその主要概念を取り上げ、物語がどのように構成されているのかを具体的作品に基づいて考察していきます。物語形式の分析を通じて文学作品の主題や内容を考察できるよう、その方法論を学びましょう。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course delves into narratology, a literary theory that scrutinizes the structure and narrative functions within a story. Drawing upon Gérard Genette's treatise, we will explore key concepts and dissect how stories are constructed by examining specific literary works. Students will acquire the necessary methodology to scrutinize the subject matter and content of literary pieces through a comprehensive analysis of narrative forms.
5. 学習の到達目標：1. 物語論のスキームを理解して文学作品の形式を評価できるようになる。
2. 物語論の分析概念を適切に用いて文学作品を分析できるようになる。
3. 文学研究に物語論を応用して作品解釈を深めることができる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：1. Comprehend the schematics of narratology and proficiently assess the form of various literary works.
2. Apply appropriate analytical concepts of narratology to effectively analyze and deconstruct literary texts.
3. Utilize narrative theory in literary studies to enhance the interpretation and understanding of diverse works.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
第1回 物語論とは何か
第2回 時間① 順序：錯時法；先説法／後説法
第3回 時間② 順序：錯時法；回顧的後説法
第4回 時間③ 持続：休止法／伸長法／叙景法／要約法／省略法
第5回 時間④ 頻度：単起的物語言説／反復的物語言説／括復的物語言説
第6回 叙法① 話法：距離と再現；直接話法／間接話法
第7回 叙法② 焦点化：内的固定焦点化
第8回 叙法③ 焦点化：内的不定焦点化
第9回 叙法④ 焦点化：内的多元焦点化
第10回 叙法⑤ 焦点化：外的焦点化とゼロ焦点化
第11回 態① 語りの時間：後置的／前置的／同時的／挿入的語り
第12回 態② 語りの水準：物語世界外／物語世界内の語り手
第13回 態③ 語りの水準：等質物語世界的／異質物語世界的語り手
第14回 態④ 語りの水準：転説法
第15回 まとめ
8. 成績評価方法：
課題への取り組み (50%)、学期末レポート (50%)
9. 教科書および参考書：
【教科書】 プリントを配布する。
【参考書】 以下の書籍を随時参照する。
Gérard Genette, Figures III, Seuil, coll. Poétique, 1972.
Gérard Genette, Nouveau discours du récit, Seuil, coll. Poétique, 1983.
ジェラルド・プリンス『改定 物語論辞典』(遠藤建一訳) 松柏社, 2015.
上記ジュネットの著作の訳書として、
『物語のディスコース 方法論の試み』(花輪光・和泉凉
10. 授業時間外学習：事前に課題を指示しますので必ず予習をしてきてください。授業後には資料とテキストを読み返し、学んだ事柄について自分自身で検証を行ってください。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：フランス語学研究演習Ⅰ／ French Linguistics(Advanced Seminar)Ⅰ

曜日・講時：前期 月曜日 3講時

セメスター：1学期 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LM11307, 科目ナンバリング：LGH-LIT644J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語史の諸トピック

2. Course Title (授業題目)：History of the French language

3. 授業の目的と概要：ラテン語から今日の世界各地のフランス語にいたるまでの、フランス語史に関するさまざまなトピックを学びます。具体的な内容については初回に受講者の皆さんと相談しますが、令和6年度についてはアフリカにおけるフランス語・フランス文学についての論文を読みたいと考えています。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：The participants learn about the history of the French language, from Latin to French in today's world.

5. 学習の到達目標：フランス語の歴史についての知識を深め、受講者それぞれの研究テーマにそれを役立たせられるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Each learner confirms their knowledge of French history and applies it to their research.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第一回 オリエンテーション

第二回 フランス語史の諸トピック (1)

第三回 フランス語史の諸トピック (2)

第四回 フランス語史の諸トピック (3)

第五回 フランス語史の諸トピック (4)

第六回 フランス語史の諸トピック (5)

第七回 フランス語史の諸トピック (6)

第八回 フランス語史の諸トピック (7)

第九回 フランス語史の諸トピック (8)

第十回 フランス語史の諸トピック (9)

第十一回 フランス語史の諸トピック (10)

第十二回 フランス語史の諸トピック (11)

第十三回 フランス語史の諸トピック (12)

第十四回 フランス語史の諸トピック (13)

第十五回 フランス語史の諸トピック (14)

(以上の進度は目安で、実際には変更があり得ます)

8. 成績評価方法：

出席(100%)

9. 教科書および参考書：

初回のオリエンテーションでの議論を踏まえて決定します。

10. 授業時間外学習：初回のオリエンテーションでの議論を踏まえて指示します。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：

科目名：フランス語学研究演習Ⅱ／ French Linguistics(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 月曜日 3講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LM21305, 科目ナンバリング：LGH-LIT645J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語史の諸トピック

2. Course Title (授業題目)：History of the French language

3. 授業の目的と概要：ラテン語から今日の世界各地のフランス語にいたるまでの、フランス語史に関するさまざまなトピックを学びます。具体的な内容については初回に受講者の皆さんと相談しますが、令和6年度についてはアフリカにおけるフランス語・フランス文学についての論文を読みたいと考えています。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：The participants learn about the history of the French language, from Latin to French in today's world.

5. 学習の到達目標：フランス語の歴史についての知識を深め、受講者それぞれの研究テーマにそれを役立たせられるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Each learner confirms their knowledge of French history and applies it to their research.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第一回 オリエンテーション

第二回 フランス語史の諸トピック (15)

第三回 フランス語史の諸トピック (16)

第四回 フランス語史の諸トピック (17)

第五回 フランス語史の諸トピック (18)

第六回 フランス語史の諸トピック (19)

第七回 フランス語史の諸トピック (20)

第八回 フランス語史の諸トピック (21)

第九回 フランス語史の諸トピック (22)

第十回 フランス語史の諸トピック (23)

第十一回 フランス語史の諸トピック (24)

第十二回 フランス語史の諸トピック (25)

第十三回 フランス語史の諸トピック (26)

第十四回 フランス語史の諸トピック (27)

第十五回 フランス語史の諸トピック (28)

(以上の進度は目安で、実際には変更があり得ます)

8. 成績評価方法：

出席(100%)

9. 教科書および参考書：

初回のオリエンテーションでの議論を踏まえて決定します。

10. 授業時間外学習：初回のオリエンテーションでの議論を踏まえて指示します。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：

科目名：フランス文学研究演習 I / French Literature (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 月曜日 5 講時

semester：1 学期 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC

コード：LM11503, 科目ナンバリング：LGH-LIT648J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Pascal Quignard
2. Course Title (授業題目)：Pascal Quignard
3. 授業の目的と概要：Thematic, poetic and stylistic approaches to a work of fiction

Learning how to analyze a complete work of fiction

Practice in text explanation

Practice in argumentation

Document analysis

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Thematic, poetic and stylistic approaches to a work of fiction

Learning how to analyze a complete work of fiction

Practice in text explanation

Practice in argumentation

Document analysis

5. 学習の到達目標：Reflection on

- the question of literary genre and the mode of narration
- asceticism as a subject and mode of writing
- the relationship between literature and music, literature and cinema

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Reflection on

- the question of literary genre and the mode of narration
- asceticism as a subject and mode of writing
- the relationship between literature and music, literature and cinema

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

- 1) Introduction
- 2) Introduction
- 3) Film screening. Analysis and discussion
- 4) Text explanation
- 5) Text explanation
- 6) Text explanation
- 7) Text explanation
- 8) Text explanation
- 9) Text explanation
- 10) Text explanation
- 11) Text explanation
- 12) Text explanation
- 13) Text explanation
- 14) Text explanation
- 15) Text explanation
- 16) Conclusion

8. 成績評価方法：

Assessment will initially take the form of continuous assessment , requiring active participation in class . This will count for 60 % of the overall assessment . At the end of the semester , students are also required to write a brief critical review of

9. 教科書および参考書 :

Pascal Quignard , Tous les matins du monde , Paris , Gallimard , collection Folioplus Classiques (dossier de Jean - Luc Verlet) , 2010

10. 授業時間外学習 : For any text explanation , before the course students will need to check vocabulary , grammar points and references , and to consider the fonctions or effects of this text .

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他 :

科目名：フランス文学研究演習Ⅱ／ French Literature(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 月曜日 5講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC

コード：LM21503, 科目ナンバリング：LGH-LIT649J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Jean - Philippe Toussaint

2. Course Title (授業題目)：Jean - Philippe Toussaint

3. 授業の目的と概要：The main aims of the course will be as follows：

- thematic and stylistic approaches to a work of fiction
- practice in text explanation
- practice in argumentation

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The main aims of the course will be as follows：

- thematic and stylistic approaches to a work of fiction
- practice in text explanation
- practice in argumentation

5. 学習の到達目標：- Critical approach to the notion of the minimalist novel

- Forms and objects of malaise , humour and irony

6. Learning Goals(学修の到達目標)：- Critical approach to the notion of the minimalist novel

- Forms and objects of malaise , humour and irony

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) Introduction
- 2) Introduction
- 3) Text explanation
- 4) Text explanation
- 5) Text explanation
- 6) Text explanation
- 7) Text explanation
- 8) Text explanation
- 9) Text explanation
- 10) Text explanation
- 11) Text explanation
- 12) Text explanation
- 13) Text explanation
- 14) Text explanation
- 15) Conclusion
- 16) Film screening . Analysis and discussion

8. 成績評価方法：

Evaluation will take the form of continuous oral assessment , which requires participation in all classes . It will count for 60 % of the overall assessment . At the end of the second semester , students will be asked to write a brief critical review of

9. 教科書および参考書：

Jean - Philippe Toussaint , La Salle de bain ,Paris , Minuit , coll. Double

10. 授業時間外学習：For any text explanation , before the class students will need to check vocabulary , grammar points , references , and to consider the functions and effects of the text .

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：フランス文学研究演習Ⅲ／ French Literature(Advanced Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 水曜日 2講時

セメスター：1学期 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LM13205, 科目ナンバリング：LGH-LIT650J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：近現代仏文学研究
 2. Course Title (授業題目)：French modern literature
 3. 授業の目的と概要：この授業では、近現代フランス文学関連のテキストを精読します。今学期は、ボードレー、ユイスマン、プルースト、モディアーノ、ジャック・レダといった作家の作品からパリを描いたテキストを選んで、読んでみたいと思います。
 4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding of the French modern literature through the intensive reading of texts. This semester, I would like to read a selection of texts depicting Paris from the works of authors such as Baudelaire, Huysmans, Proust, Modiano, and Jacques Reda.
 5. 学習の到達目標：近現代フランス文学の理解を深める。
 6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students better understand French modern literature.
 7. 授業の内容・方法と進度予定：
(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
- 第1回 導入&テキスト読解 (1)
- 第2回 テキスト読解 (2)
- 第3回 テキスト読解 (3)
- 第4回 テキスト読解 (4)
- 第5回 テキスト読解 (5)
- 第6回 テキスト読解 (6)
- 第7回 テキスト読解 (7)
- 第8回 テキスト読解 (8)
- 第9回 テキスト読解 (9)
- 第10回 テキスト読解 (10)
- 第11回 テキスト読解 (11)
- 第12回 テキスト読解 (12)
- 第13回 テキスト読解 (13)
- 第14回 テキスト読解 (14)
- 第15回 テキスト読解 (15)
8. 成績評価方法：
予習をしたうえでの授業への参加状況 100%
 9. 教科書および参考書：
Google クラスルームに PDF ファイルをアップします。
 10. 授業時間外学習：毎回、十分な予習を行ったうえで、授業に臨んでください。
 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
 12. その他：